令和８年度
北海道の専門高校の今を伝える
セブンエスニュース
7S NEWS
7つの専門（Senmon）高校
農業 工業 商業 水産 家庭 看護 福祉
令和８年（2026年）
第１号
６月19日
北海道教育庁学校教育局
高校教育課キャリア教育指導係

道内の７つの専門高校（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉）における、産業界と連携した人材育成の取組や、専門高校の魅力発信に係る特色ある取組、さらに、各学科の学習内容について広く発信します。

「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」成果報告書

Ｒ６年度～Ｒ７年度の２カ年にわたり、国のマイスター・ハイスクール普及促進事業の採択を受け、専門高校と産業界の連携強化や、専門高校の価値や魅力を発信することで、次代の北海道を創る人材育成を推進することを目的として、「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」を実施しました。

道教委では、本事業の２カ年の成果をまとめた報告書をWeb ページに掲載しています。

「産学連携シンポジウム」、「ONE-TEAM フェスタ」などの各イベントの実施報告や、「専門高校魅力発見ガイド」や、「おしごとガイドブック」などの刊行物を掲載しています。（令和６年度版と令和７年度版の成果報告書及び概要版を掲載しています。）

ぜひ御覧いただき、各学校における産業界との持続可能な連携体制の構築や、学科の垣根を越えた連携の実践、さらに、専門高校の魅力発信等に向けて活用願います。

また、事業は終了しましたが、令和８年度も、教員等が新たな産業や働き方についての理解を促進するため**オンラインセミナー※を開催**するほか、持続的な人的・物的資源の活用を促進するため、出前授業等が可能な職業人をまとめた**「産業実務家教員リスト」のアップデート**を行う予定です。

詳細については、改めてお知らせいたします。

今後も、学校と産業界が「一緒に人を育てる」という意識の醸成や、産学連携に資する取組の実施及び情報の発信を継続していきます。

※　オンラインセミナーは、建設 DX、洋上風力発電、半導体、スマート農業、スマート水産業、観光産業に関する内容を予定しています。



令和７年度「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」成果報告書





令和７年度「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」成果概要図（一部抜粋）

「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」Web ページはこちら →



上記の二次元コードからアクセスして、ぜひ御覧ください！

産学連携に係る好事例の紹介

専門高校と産業界が連携した好事例について紹介します。
本号では、置戸高校と帯広農業高校における、産業界と連携した職業人材の育成に係る取組事例を紹介します。

事例１　福祉の学びを観光業に生かす取組～置戸高校の事例～

置戸高校は、道立高校で唯一の「福祉科」を設置する高校であり、福祉に係る専門的な学びを通して、持続可能な地域社会や福祉社会を担う人材育成を行っています。

この専門的な学びを生かし、昨年度、星野リゾートトマムと連携した取組を行いました。



<生徒が、職員に車いす操作を教える様子>

置戸高校の生徒が講師となり、星野リゾートの目指す、「全ての家族のニーズに応じたサービスの提供」に向けた、物理的な障壁をクリアするための車いすの操作技術など、福祉用具の操作に係る研修を職員向けに行いました。

星野リゾートの職員からは、「初めて福祉に係る講習を受け、今まで気にしていなかったことに気付かされた。」などの感想が寄せられました。



<生徒と職員による研修後の振り返りの様子>

また、参加した生徒からは、「福祉施設以外でも求められる技術であると実感した。」や、「福祉の視点から考えることが必要な場面が多くあると感じた。」との声がありました。

異なる業種との産学連携は、学びの広がりを生徒が実感する機会となるほか、専門高校の魅力化及び価値創造にもつながる可能性があります。

事例２　農業の人材確保に向けた取組～帯広農業高校の事例～

帯広農業高校は、農業の人材確保に向けて、新規就農に係る学習プログラムを令和５年度から展開してきており、その一環として、令和７年度に、農業を専門で学ぶ高校生と高校生の雇用を検討している農業者等をつなぐマッチング交流会を実施しました。

道内外の農業生産法人や関係企業、計 16 社が参加し、生徒が農業について新たな知見を得たり、新規就農について深く考えたりする機会となったほか、企業にとっても農業人材の確保につながる取組となるなどの成果がありました。

また、今年度から、JA 帯広かわにし、札幌テレビ放送（株）などと連携し、新規就農に向けた夢の実験農場「どさんこ村」の取組に参画しています。

非農家出身の本校卒業生が、農家の支援で農業を学ぶほか、生徒が「どさんこ村」の取組において、有機農業やスマート農業、環境に配慮した持続可能な農業実践について学びを深めることとしています。

産学連携により、将来の農業を担う人材育成につながることはもとより、取組をメディア等で広く PR することで、世代や業種を問わず、幅広い方々が農業に対して興味・関心をもつきっかけとなり、生徒募集や、新たな産学連携にもつながることが考えられます。



<雇用就農に向けたマッチング交流会の様子>



<「どさんこ村」開村式の様子>



産学連携の推進には、「第 29 期北海道産業教育審議会建議」も参考になります。右の二次元コードからアクセスして、ぜひ御覧ください。

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/dousanshin/204423.html